

【第1号議案】

I. 令和8年度 事業計画（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

基本方針

2025年4月に公益法人の新制度が施行されました。今回改正は、財務規律(参考資料1)の柔軟化・明確化、手続きの簡素化・合理化、ガバナンス充実と透明性向上を目的とし、自由度の高い資金活用と信頼性を備えた迅速な事業展開を可能とするものです。

本改正により、当財団の事業内容を大きく変更する必要はありませんが、引き続き**助成事業**を本来の趣旨に沿って適切に運営してまいります。なお、今期の内閣府承認をもって、事業内容は維持したまま、事業項目を4つへ統合する計画です(参考資料2)。事業予算の変更は令和9年度より実施予定です。

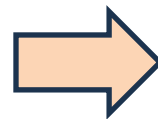
参考資料1 財務規律における改正点

1. 黒字決算となった場合の均衡化期間を現行2年より5年(中期的均衡)へ延長し、過去赤字を含むことが可能。
2. 積立による柔軟な資金活用を目的とする『公益充実資金』科目を創設。
3. 不測事態等に備える『使途不特定財産』科目を創設。

参考資料2 ★事業項目統合(案)★

◆現公益事業名◆(6事業名称)

- (公1) 研究・助成事業 (公3) 支援助成事業
- (公2) 教育・研修事業 (公6) 海外研修事業
- (公4) 調査・研究事業
- (公5) 情報提供事業



★新公益事業名★(4事業名称)(令和9年度より)

- (公1) 助成事業(難病児等組織支援事業を包括)
- (公2) 教育研修事業(海外研修事業を包括)
- (公3) 調査・研究事業
- (公4) 情報提供事業

1. 公益目的事業の充実と執行に関する事項

(公1)在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業(研究事業助成事業)

〔事業目的〕

在宅ケア推進するための研究や事業に助成することで、国民医療や福祉向上に寄与する。
事業費 11,000,000円 助成数 35件 (予定)

選考・決定概要

①選考委員会の実施(第1回令和8年2月6日開催予定・第2回令和8年5月14日開催予定)

- ・第1回 研究テーマ等に加え、今期は選考方法、助成金額及び助成対象者を再検討する。
- ・第2回 厳正な審議を基に、助成する研究・事業・ボランティア活動と額を決定する。

②選考委員構成(5名) ※谷口敬道(たにくち たかみち)氏は理事会(第5号議案)へ付託予定。

- ・内田 恵美子 (株)日本在宅ケア教育研究所取締役会長)
- ・新田 國夫 (医療法人社団つくし会 理事長)
- ・福井 小紀子 (国立大学法人東京科学大学 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学分野 教授)
- ・小澤 温 (筑波大学 名誉教授)
- ※谷口 敬道(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻作業療法学分野 教授)

※(参考) 令和7年度(第36回)助成実績 50件 12,210,000円

(公2)在宅ケアに関する人材育成を図るための教育研修事業 以下小項目1)～4)

1)福祉用具プランナー認定講習

主催(公財)テクノエイド協会 研修実施機関 (公財)フランスベッド・ホームケア財団

[事業目的]

福祉用具の選定相談等に携わる担当者向けの資格。商品知識・使用技術を更に深めることを目的とした認定講習会です。

講習概要

①受講対象と技能習得目標

受講対象者は、福祉用具関連業務に2年以上従事する者(保健師、看護師、PT, OT, 社会福祉士、及び福祉用具専門相談員等)とし、利用者へ適切に用具選定をするため、アセスメント技術、用具にかかる専門知識や特性と操作方法等7項目を習得する。

〈1)アセスメントの向上、2)正しい選定・適合のための知識習得、3)プランニングの専門知識、4)特性や操作方法、5)他のサービスの連携の理解、6)供給従事者の職業倫理、7)相談技術の向上〉

②講習開催:11月11日～14日 25日～27日開催予定 関東地域((予定地)小平市)

③募集定員:30名 募集エリア:関東地域

④研修内容:Eラーニング 48.0時間 :集合研修科目52.5時間 (総合計 100.5時間)

⑤受講料収入 :単価58,400円(内21,000円はeラーニング代としてテクノエイド協会へ支払い)

2)リフトリーダー養成研修

共催(公財)テクノエイド協会及び介護リフト普及協会(JASPA)

〔事業目的〕

介護者・利用者へのアセスメント手法と身体状況にあわせたリフト選定や活用方法を学び、介護援助に携わる専門職等の資質向上を図ることを目的とした養成研修です。

研修概要

①受講対象者

施設等事業主(導入実施者)及び職員、福祉用具関連事業者(導入提案者)であり、リフトを積極的に活用し、介護職員の腰痛予防対策を積極的に推進しようとするもの、及び、特に研修受講の有効性があり実施機関が認めるもの

②研修開催:7月2日~4日開催予定 ((予定地)札幌市)

③募集定員:40名 募集エリア:北日本地域

④研修内容:リフトリーダーと助成金制度1.5時間・腰痛の原因と対策1.5時間

・介護作業とリフト3.0時間移乗関連用具指導法6.0時間 (2日間での実施)

※希望者には、リフトインストラクター認定試験の実施 :筆記試験・実技試験

⑤受講料収入 : 単価15,000円

3)在宅ケアに関わる多職種に向けた研修(オンデマンドセミナー) 主催 公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

[事業目的]

地域包括ケアシステムで連携する各職種に向け、利用者の自立支援に立つ専門職を育成することを目的とする研修です。

研修概要

①受講対象者:在宅ケアに関わる職種、又その他希望する者

②研修開催:4~6月開催予定 全国を対象

③募集定員:2000名 6月以降申込状況によりブロック毎再開催を検討

④研修内容:(検討中)・アドバンスケアプランニング(ACP)について
・認知症ケアについて ・多職種連携 ・介護報酬等々

(参考) 昨年《最後まで楽しく自分らしく! ケアマネジメントにダイバーショナルセラピーの活用を》
日本ダイバーショナルセラピー協会 芹澤理事長

⑤受講料 : 無料

前期開催チラシ

介護支援専門員研修 オンデマンドセミナー
IN 東日本ブロック
南関東・新潟・長野

最後まで楽しく自分らしく!

ケアマネジメントにダイバーショナルセラピーの活用を

配信期間
2025年11月7日(金) 9:00 ~ 12月8日(月) 17:00

視聴時間 前半80分 後半37分 視聴無料
日本ダイバーショナルセラピー協会
理事長 芹澤隆子 氏

★申込み方法
<https://www.fbm-zaidan.or.jp/training/index.html>

①上記URLまたはQRコードよりアクセスしてください。
②必要事項を入力し送信してください。※メールアドレスの入力間違いないようご注意ください。
③「受付メール」が届きましたら手続き完了です。

★申込み期間 2025年10月1日(水)~10月31日(金) 13:00
申込が切後に視聴URLをご登録いただいたメールアドレス宛にお送りいたします。

★オンデマンドセミナー視聴にかかわるご留意事項★ (申込みをいただいた時点でご同意いただいたものとさせていただきます。)

- 本動画の内容、テキスト、画像、講義資料等の無断転載・無断使用を固く禁じます。
- 本セミナーの、動画の録画、録音、スクリーンショット、スマートフォン等での撮影はご遠慮ください。
- 配信URLを他の方へ知らせたり、SNSなどで公開したりしないようお願いいたします。

主催: 公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団
問い合わせ先 TEL:042-349-5435 MAIL: info@fbm-zaidan.or.jp
月~金曜(祝日を除く)9:00~17:00
協賛: フランスベッド株式会社 メディカル販売営業部・東京、千葉、神奈川営業部

4) 地域貢献活動事業

〔事業目的〕

令和4年3月末に新宿区から小平市に移転したことで、当財団を小平市民へ告知し、貢献できる施策実現を目的とします。

事業概要

①小平市担当課より金銭助成や健康に関する研修等のニーズを聞き取る

②小平市開催のイベント等の参加し実施可能性を検証する。

市民公開講座、福祉関連まつり(10月18日)や展示等に参加

(公3)在宅ケアの対象となる高齢者や難病・がんのこどもたち等

への組織に対する支援助成

〔事業目的〕

在宅ケアの対象となる高齢者や難病・がんのこどもたち等へ活動をする団体に対し、支援を行うものとし、地域での療養生活の質の向上と支援体制の醸成を図る。

事業概要

①助成対象事業

- ・ 高齢者が健康で安心に加え、生きがいのある人生を送るための創意工夫を生かした自発的実施するもの
- ・ 高齢者福祉の増進を目的とした先駆的、実践的なモデル
- ・ 難病・がんのこども達が地域社会で充実した生活を送れるようにする支援
- ・ 在宅生活に適した啓発活動を行うもの
- ・ 近年大きな自然災害が起きていることから自治体や罹災者等に対する支援も合わせて助成

②選考委員構成(3名)

- ・ 久留 喜武 (一般社団法人シルバーサービス振興会 常務理事)
- ・ 平原 優美 (公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事)
- ・ 潮谷 有二 (社会福祉法人慈愛園 理事長)

支援助成選考委員会で、対象となる事業の選考・評価をいただき、審議の上決定いたします

※助成期間および金額等検討の上、応募要領は、ホームページに掲載いたします。

(公4)在宅ケアに関する調査・研究事業

〔事業目的〕

調査、研究並びに情報収集及び提供することで、在宅ケアに寄与する。

事業概要

【調査委託名】『利用者に適切な福祉用具を提供するための介護支援専門員のケアプランと福祉用具専門相談員間のサービス計画の連携について(利用者情報・補完、協議)』
(令和7年度～8年度の2年間にわたっての事業 事業費各年100万円)

- ①委託先及び研究機関 : 一般社団法人日本ケアマネジメント学会(理事長 白澤政和)
- ②目的 : 新規の福祉用具選定に際して、それぞれの役割を果たし、どこまでの連携をとるかを明らかにする
- ③研究方法: 無作為抽出の居宅・介護支援専門員と貸与事業所・福祉用具専門相談員に福祉用具選定に際しての連携程度や利用者や家族の意向等について調査する。
- ④分析方法: 調書を基に、介護支援専門員が関与したかを導き出し、紐づけした事業者間の関連要因を明らかにする

(公5)海外研修事業

〔事業目的〕

福祉用具での事業展開を目指す海外事業者所属の福祉相談スタッフの知識習得の場を提供

事業概要

展示会等視察ため来日する海外事業所スタッフに対して、講師派遣をアテンドし、福祉用具専門相談員コースに類似する研修会等を開催する。科目別(福祉用具の利活用:移動、移乗、床ずれ防止、排泄関連用具等)に視点を当てた講習とする。

(公6) 情報提供事業(ふれあいの輪Web版刊行)

[事業目的]

季刊誌『ふれあいの輪』の刊行し、在宅ケア等を含め、医療、看護、介護分野等の専門的かつ有用な情報を広範に提供する。

事業概要

- ① 介護保険制度や医療制度など、医療・看護・介護に関わる新しい情報を提供する
- ② 地域ネットワークを活かした活動や、新しい在宅医療・介護への取組を紹介する
- ③ ケアマネジメントに必要なノウハウや、法改正、制度改定などに伴う問題点や対応手段などについて事例を通し専門家の意見を掲載する

※現行の『ふれあいの輪』の刊行を継続しながら、在宅ケアに関わる多職種を対象とした雑誌への刷新を目指し、編集内容やレイアウト等の検討を進めます。



2. 新公益法人制度改革に対応する及び事務局DX化の推進

(要旨)

公益法人制度の改正を踏まえ、中期的課題として、会計、経費、領収証管理など個別に運用しているソフトウェアの統合を進め、業務の効率化を図ります。合わせて、助成募集や情報提供の主要ツールであるホームページ等を刷新し、事業内容の開示を強化することで、事務局のDX化を推進いたします。(情報開示の強化)

詳細

① 下記、制度改革に則した新制度用会計ソフトへの適切な移行

- 1) 事業項目変更の届け(項目削減)
- 2) 役員規制(公益認定基準)
- 3) 中期的収支均衡(収支相償)
- 4) 使途不特定財産(遊休財産)規制
- 5) 区分経理(財務諸表等)

② 電子帳簿保存における業務プロセス整備

インボイス制度に対応する領収証等書類の保存を完全履行いたします

③ 事務局DX化推進

- ・業務効率化、誤記転記防止を目的として各種システム導入(当期は、請求システム導入)
- ・情報提供拡大のためホームページを刷新

④ 諸規程の改廃

現行の財団諸規程の洗い出しを行い、定時理事会及び定時評議員会にて提案いたします